

三猿文庫 編

平市公報

第十七號

昭和十四年八月十五日

今般施行セラレタル規程左ノ如シ

平市區長及代理者設置規程

第一條 本市ハ市制第八十二條ニ依リ市內ヲ左ノ區ニ分テ每區ニ區長及

代理者各一名ヲ置ク

- 第一區 字新町、字長橋町、字藥王寺臺、字童子町ノ一部
- 第二區 字研町、字古鍛冶町、字大館ノ一部
- 第三區 字紺屋町
- 第四區 字田町、字舊城跡ノ一部
- 第五區 字一丁目
- 第六區 字二丁目
- 第七區 字三丁目
- 第八區 字四丁目
- 第九區 字五丁目
- 第十區 字新川町
- 第十一區 字材木町、字堂ノ前、字童子町ノ一部
- 第十二區 字鍛冶町、字堂根町、中町ノ一部、字三崎ノ一部
- 第十三區 字南町
- 第十四區 字久保町、字道匠小路、字大館、字七軒町
- 第十五區 字胡摩澤、字高月、字杉平ノ一部、字六人町ノ一部、字

櫻町ノ一部

- 第十六區 字四軒町、字梅香町、字柳町、字白銀町ノ内、鐵道以北
- 第十七區 字仲間町、字鷹匠町、字番匠町、字九品寺前、字手摺、字彌宜町
- 第十八區 字鎌田町、字上川原、字下川原、字五色町
- 第十九區 字立町、字彌宜町ノ一部、字正月町ノ一部
- 第二十區 字堤ノ内、字正内町、字正月町ノ一部
- 第二十一區 字白銀町、鐵道以南、字田町ノ一部、停車場一圓
- 第二十二區 字大工町、字白銀町ノ一部、字五丁目ノ一部
- 第二十三區 字搔樋小路、字六間門、字杉平ノ一部、字舊城跡ノ一部
- 字田町ノ一部
- 第二十四區 字舊城跡、字杉平、字六間門、字櫻町、字四軒町ノ一部
- 第二十五區 字八幡小路、揚土
- 第二十六區 字月見町、字三倉、字倉前、字新田前、字佃町、字下町
- 第二十七區 字北目町
- 第二十八區 字大町、字十五丁目、字中町ノ一部、字小太郎町、字菱川
- 第二十九區 大字上平窪
- 第三十區 大字中平窪
- 第三十一區 大字下平窪
- 第三十二區 大字中鹽、大字四ツ波

第三十三條 大字幕ノ内、鯨岡、大室

第二條 區長及代理者ノ任期ハ二ケ年トス 但シ任期滿了後ト雖モ後任者就職ノ日迄在任スルモノトス

補缺ニ依リ定マリタル區長又ハ代理者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三條 區長ヲシテ補助執行セシムベキ事務ノ概目左ノ如シ

- 一、現任者調査ノ件
- 二、區内道路橋梁溝渠ニ關スル件
- 三、諸稅未納者督促ノ件
- 四、勸業通信事項ニ關スル件
- 五、其ノ他市長ノ指揮命令シタル事項

第四條 區長代理者ハ區長故障アルトキ其ノ事務ヲ代理ス

第五條 區長ニハ報酬ヲ給ス 但シ其ノ額ハ毎年度別ニ豫算ヲ以テ定ム

附 則

本規程ハ昭和十四年八月十一日ヨリ施行

救荒豫備金積立及管理規程

第一條 本市救荒豫備金ハ左ノ收入ヲ以テ蓄積スルモノトス

- 一、救荒豫備金ヨリ生スル收入
- 二、指定寄附金

第二條 救荒豫備金ハ其ノ支出ノ必要アル迄銀行預金若ハ郵便貯金トシ利殖ヲ圖ルモノトス

第三條 救荒豫備金ハ特別會計トシ其ノ收支ハ毎年度市會ノ議決ヲ經ルモノトス

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

告 示

告示第二二號

市會ノ議決ヲ經タル昭和十四年度平市歲入歲出追加更正豫算ノ要領左ノ如シ

昭和十四年七月三十一日

平市長 青 沼 鋒 太 郎

記

昭和十四年度平市歲入歲出追加更正豫算

歲 入

一金五拾貳萬五千六百貳拾八圓也 更正豫算高

一金五拾五拾壹萬壹千九百八圓也 既定豫算高

歲 出

一金參拾貳萬貳千九百五拾八圓也 經常部更正豫算高

一金參拾壹萬八千九百九圓也 同 既定豫算高

一金拾九萬參千七百九拾九圓也 臨時部更正豫算高

一金拾九萬參千七百九拾九圓也 同 既定豫算高

經常部臨時部合計金五拾貳萬五千六百貳拾八圓也

歲入出差引殘金ナシ(別表略)

告示第二三號

七月二十九日市會ニ於テ名譽職參事會員選舉ノ結果左記ノ者當選シタリ

記

昭 和 十 四 年 八 月 二 日 平 市 長 青 沼 鋒 太 郎

吉 村 安 次 郎 矢 吹 龜 作 大 谷 武 雄 多 田 井 笑 次 郎

鈴 木 庫 左 右 大 嶺 庫 吉 田 寅 之 輔 鈴 木 彌 太 郎

川 崎 文 治 永 山 勇 吉

告示第二五號

市參事會ノ議決ヲ經タル昭和十四年度平市歳入歳出追加更生豫算ノ要領左ノ如シ

昭和十四年八月十日

平市長 青 沼 鋒 太 郎

昭和十四年度平市歳入歳出追加更正豫算

歳 入

一金五拾貳萬五千七百八拾貳圓

一金五拾貳萬五千六百貳拾八圓

一金參拾貳萬參千九百五拾八圓

一金貳拾萬貳千六百七拾圓

一金ナシ

一金貳拾萬貳千六百七拾圓

經常部臨時部合計五拾貳萬五千七百八拾貳圓

歳入出差引殘金ナシ(別表略)

出

更生豫算高

既定豫算高

經常部更正豫算高

既定豫算高

臨時部更正豫算高

既定豫算高

同 既定豫算高

各種委員決定

土木委員	荒川 淺次郎	水道委員	金古 政道
"	矢吹 初彌	"	酒井 清
"	金古 政道	"	鈴木 庄之助
"	藤田 榮助	"	吉田 五平
"	川崎 文治	學務委員	多田井笑次郎
水道委員	鈴木 光吉	"	萩原 義雄

警備委員

荒川 淺次郎

傳染病豫防委員

矢吹 初彌

"

矢吹 初彌

"

菅本 庄治

"

大谷 武雄

"

鈴木 庄之助

"

山野邊 義政

臨時出納検査員

川崎 文治

"

酒井 清

"

鈴木 庫左右

"

鈴木 彌太郎

"

吉田 寅之輔

"

高橋 龜松

以上七月二十九日市會ニ於テ決定(八月十四日就任)學務委員ハ松崎松治、
矢吹龜作氏ノ辭任ニヨル補欠、臨時出納検査員ハ八月七日市參事會ニ於テ
互選セルモノトス

區長及代理者決定

區名	町	名	區長	區長代理者
第一區	長橋町、新町、藥王寺臺、童子町ノ一部	川角 兼吉	小齋 宗一郎	
第二區	研町、古鍛冶町、大館ノ一部	木澤 常松	淺井 忠市	
第三區	紺屋町	山野邊大五郎	橋 幸吉	
第四區	田町、舊城跡ノ一部	內藏 悌治	金子 重次	
第五區	一丁目	明知 榮司	飯田 近治	
第六區	二丁目	中野 庄吉	星野 久八	
第七區	四丁目	星野 庸治	小野 勇	
第八區	五丁目	山部 政治	石川 幸太郎	
第九區	新川町	野本 龜吉	田中 宣治	
第十區	材木町、堂ノ前、童子町ノ一部	鈴木 要七	金成 泉一郎	
第十一區	鍛冶町、堂根町、中町ノ一部、三崎ノ一部	酒井 政之助	梅津 松吉	

第十三	南町	久保町、道匠小路、大館七軒町	佐藤 榮次郎	大谷 直次郎
第十四	〃	胡摩澤、高月、杉平ノ一部、六人町ノ一部、櫻町ノ一部	青木 甚平	矢田部 忠芳
第十五	〃	北白銀町、四軒町、梅香町、柳町、白銀町ノ内鐵道以北	花澤 久一郎	田名綱 申藏
第十六	〃	仲間町、鷹匠町、番匠町、九品寺前、字手摺、彌宜町	小野 金太郎	馬場 武太郎
第十七	〃	鎌田町、上川原、下川原、五色町	萩 条藏	島越 由彌
第十八	〃	立町、彌宜町ノ一部、正月町ノ一部	草野 七喜之助	根本 忠吉
第十九	〃	堤ノ内、正内町、正月町ノ一部	佐藤 榮吉	西郡 國太
第二十	〃	白銀町(鐵道以南)、田町ノ一部	山本 龍次郎	難波 甚藏
第二一	〃	大工町、白銀町ノ一部、五町目ノ一部	野崎 喜八郎	村山 三郎
第二二	〃	搔植小路、杉平ノ一部、舊城跡ノ一部、田町ノ一部	石澤 茂	高野 忠造
第二三	〃	舊城跡、杉平、六間門、櫻町、四軒町ノ一部	吉田 弘	吉田 正
第二四	〃	八幡小路、揚土	小野 寛美	猪狩 寛治
第二五	〃	月見町、三倉、倉前、新田前、佃町、下町	渡邊 久	吉田 金作
第二六	〃	北目町	根本 一馬	久田 太平
第二七	〃	大町、十五町目、小太郎町、菱川、中町ノ一部	鈴木 寶雄	折笠 左重
第二八	〃	上平窪	小野 禎	松本 榮一
第二九	〃	中平窪	金成 留次郎	草野 松彌
第三〇	〃	下平窪	上妻 寶次郎	松崎 忠衛
第三一	〃	中鹽、四波	會川 元次郎	鎌田 務平
第三二	〃		小野 甚平	關場 益一

第三三〃 大室、幕ノ内、鯨岡 吉田 庄一 櫻井 政光

簡閱點呼豫習教育實施

簡閱點呼豫習教育ハ時局柄極メテ緊要事ナルノミナラス其筋ヨリ要望モ有之平市聯合會長ト協議ノ上左記要項ニ依リ實施スルコト、セリ

記

一、八月十四日 各分會ハ獨自ノ計畫ニヨリ實施スルコト
要スレハ十六日午前迄 (其ノ筋ノ指示ニヨル課目全般ニ亙リ)

二、八月十六日 午後一時平第一小學校ニ於テ市並聯合分會ハ各分會ノ實績考査ヲ施行ト併セテ統制指導訓練ヲ行フ

(一)各分會ハ當日午後〇時四十分迄ニ平第一校庭雨天ノ場合ハ同講堂ニ集合セシムヘシ

(二)考査ノ課目並方法ニ付テハ現地ニ於テ指示ス

(三)各分會長ハ同日同刻迄ニ左ノ書類ヲ聯合分會長ニ提出スヘシ

イ、豫習教育實施狀況書

ロ、出席名簿(役種官等級氏名出欠)

ハ、指導員ノ名簿(役種官等級氏名)

備考

一、服裝ニ注意シ武裝セシム(但シ背囊其ノ他裝具ヲ除ク)

二、奉公袋ヲ携行セシム

三、各分會備付ノ防具(木銃ヲ含ム)携行スヘシ

商店員一夜講習會の狀況

商店員一夜講習會は豫定の通靈場御井嶽常福寺に於て開催されたが其の

狀況左の通りである

會期 五日間 出席人員 一〇一人
 講師 常福寺住職大僧正 旭純 榮 猊 下
 同 遠藤 深 勇 師
 佛心 休現會主 岸上 膽 山 師
 白水願成寺住職 赤土 興 榮 師
 平第一小學校長 篠山 廉 氏
 平市 視學 長谷川 政 氏

講習午後四時入所式より翌日午前九時の退所式迄の僅かなる時間の中に講師の熱心にして有益なる講話と併せて規律的に團体的に訓練し社會共同生活の一斑を体験せしめ裨益する所極めて多きものありたり

七月中文書收受發送件數

部 門	收 受	發 送	計
庶務	一六二	一三二	二九四
學務	二五四	二九八	五五二
産業	三六〇	三三二	六九二
兵務	一七八	一六九	三四七
戶籍	三〇五	二九八	六〇三
社會	一六三	一七〇	三三三
財務	二六八	一六九	四三七
工務	七〇	六二	一三二
計	一、七六〇	一、六三〇	三、三九〇

七月中戸籍寄留件數

種 別	本 籍	非本籍	計
出生	四五	一八	六三
死亡	二九	一七	四六
婚姻	三五	一	三六
離婚	五	一	五
其ノ他	五〇	一	五一
計	一六四	三七	二〇一
謄抄本			二七一

七月分市税納入狀況

昭和十四年度市税中七月賦課同月二十五日納期ニ係ル市税特別税戸數割及家屋税附加税各納期前後五日間ニ於ケル納税狀況左ノ如シ

税 目	賦 課 額	七月五日	七月十日	七月十五日	七月廿日
特別税戸數割	六、五五五、五〇	三、五五五、七	八、八五、五	三、二〇、九	六、七五、四
家屋税附加	三、〇九、七	四、八、六	一、四六、七	二、六〇、四	一、二四、八
計	八、六五五、二〇	三、五六四、三	九、六二、二	五、八〇、三	七、九〇、二
本月七日		計			
	一、〇〇、八〇	三、五六五、一			
	一、五〇、四	五、八七、九			
	一、〇五、八	六、四三、九			

反英決議文發送

備考 七月二十三日ハ休日、二十五日ハ指定納期日トス

日英會談惡化ノ情勢ニ鑑ミ本市ニ於テハ七月三十一日市會議員協議ノ結果左記決議文ヲ關係各大臣、現地代表宛電報ヲ發シ且東京市反英市民同盟へ通知ヲナシタリ

決議文

日英會談ノ御勞苦ヲ謹謝ス
 原則ヲ認メ細目ノ妥結ニ誠意ナキハ是レ老翁ナル傳統的英國外交ノ本質ナリ徒ニ自國ノ面目ヲ固執シ敵性ヲ拋棄セサル英國ト會談ヲ續行スルハ我帝國ノ公正ト威信ヲ失墜スルヤ甚シ當局ハ寧ロ會談ヲ決裂セシメ斷然討英ニ邁進セラルベシ

平市長 青 沼 鋒 太 郎
 平市會議長 野 崎 滿 藏

蠅取デ一實施狀況

傳染豫防ノ最大目的タル第七回蠅取デ一ハ高木喬氏主催、平市及市内衛生團體後援ノ下ニ八月十一、二ノ兩日市役所構内ニ於テ舉行セラレタルニ捕獲數五三三、一八一、參加人員二、四八三ノ多キヲ算シ良好ナル成績ヲ擧ク終了シタリ、尙開始以來ノ成績ヲ掲クレハ左ノ如シ

年次	蠅捕獲數	參加人員
昭和八年	四六八、七二〇	一、四三八
全 九年	三五四、二七六	一、五六三
全 十年	七五六、二六六	一、七五八
全 十一年	二七四、一三四	二、三三〇
全 十二年	三七〇、〇〇〇	二、五七六
全 十三年	三六九、九八五	二、五九六
全 十四年	五三三、一八一	二、四八三

合計 三、一二六、五六二 一四、七四四

七月中公會堂使用狀況

一使用回数	二〇
內有	五
無	四
市役所使用	一
料	料
金	二六、六〇

公會堂電話開設

七月二十七日ヨリ公會堂電話開始 番號七八九番

神社例祭

七月二十三日 小社花地稻荷神社
 // 三十一日 小社八重垣神社
 // 小社八坂神社
 八月四日 村社北野神社

市葬執行

故陸軍騎兵伍長豊田勝一、故陸軍歩兵上等兵富田行雄、故陸軍歩兵上等兵丹野一郎、故陸軍輜重兵上等兵林鐵雄氏ノ合同市葬ハ八月七日午後一時ヨリ平第三小學校講堂ニ於テ青沼市長司祭者トナリ委員長、副委員長、市葬係員夫々分担盛大裡ニ執行セラレ、式場ニハ陸軍三長官、帝國在郷軍人會長、軍人後援會長、大日本傷痍軍人會長、關係各部隊長、聯隊區司令官、

福島縣知事ノ各代理官、市名譽職員、官衙長、學校長、隣接町村長、各種團體ヲ始メ一般市民多數參列、所定ノ順序ニ依リ野崎委員長開式ヲ宣シ一同英靈ニ對シ拜禮ノ上神式佛式ニ移リ次テ市長ノ祭詞、陸軍三長官ノ代拜帝國在郷軍人會長、大日本傷痍軍人會長、部隊長ノ弔詞代拜、聯隊區司令官、知事代理ヲ始メ其他遂次弔詞玉串奉奠燒香ヲナシ弔電披露、一同拜禮市長ノ挨拶、遺族代表ノ謝辭、次テ閉式ノ辭ニテ午後三時三十分嚴肅禮ニ終了シタリ、更ニ序列ヲ整ヒ沿道各學校生徒堵列一般市民ノ葬送ヲ受ケ丹野氏及林氏遺骨ハ市内三町目ニ於テ列ヲ換ヘ市内九品寺ニ、富田氏遺骨ハ市内性源寺ヘ、豊田氏遺骨ハ市内妙見寺ヘ夫々埋葬シタリ

市 會

七月二十九日市會開會附議事件左ノ如シ

- 一、昭和十四年度平市歳入歳出追加更正豫算ノ件
- 一、寄附採納ノ件
- 一、區長及代理者設置規程ノ件
- 一、救荒豫備金積立及管理規程ノ件
- 一、第五小學校敷地内水路付替ノ件
- 一、名譽職參事會員選舉ノ件
- 一、土木委員推薦ノ件
- 一、水道委員推薦ノ件
- 一、警備委員推薦ノ件
- 一、傳染病豫防委員推薦ノ件
- 一、學務委員推薦ノ件
- 一、區長及區長代理者推薦ノ件
- 一、區長區長代理者辭任認定ノ件

一、水道使用料殊種契約繼續ニ關スル件

市 參 事 會

八月九日市參事會開會附議事件左ノ如シ

- 一、昭和十四年度平市歳入歳出追加更正豫算ノ件
- 一、元細菌檢査所建物無償交付申請ノ件
- 一、商業學校舊校舍一部無償交付ノ件
- 一、土地買收ノ件
- 一、寄附採納ノ件
- 一、臨時出納檢査立會員互選ノ件
- 一、區長及代理者推薦ノ件

委 員 會

- 七月二十二日 土木委員會
- 〃 二十五日 商業學校建築委員會
- 〃 二十六日 警備委員會
- 〃 二十七日 學務委員會
- 八月 八日 工業學校設置委員會
- 〃 十日 土木委員會

吏 員 表 彰

八月十二日小名濱町ニ開催石城郡財務協會ニ於テ多年徵稅事務ニ盡力セル功ニ依リ表彰セラレタル吏員中本市吏員左ノ如シ

平市書記 渡 邊 源 彌

辭令

七月二十二日 雇ヲ命ス月俸參拾圓給與 木村正太郎
 工務課勤務
 七月三十一日 依願解職 雇青木弘

市立傳染病院主治醫變迭

七月二十日囑託ヲ解ク 醫師 清水廣政
 七月二十一日囑託ス 大森勇

廳中記事

七月十六日 物價統制委員會
 物價統制並ニ貯蓄獎勵懇談會
 本日ヨリ防空訓練演習舉行
 赤十字救護班長トシテ出征中ノ大森勇氏歸還
 物價委員會
 軍事後援會役員會
 公益質屋建築地鎮祭
 午後七時ヨリ公會堂ニ於テ講演ト映畫ト夕開催、平郵便局長「軍事郵便ニ就テ」平市伊藤助役「貯金獎勵ニ就テ」

廿四日 ノ講演及映畫アリ、會集二千餘名
 午後一時ヨリ公會堂ニ於テ菅野力夫氏ノ講演各小學校五年生以上ニ聽講セシム
 午後七時ヨリ全上一般ニ對スル講演「大和民族ノ雄飛ニ就テ」及戰地ヨリ蒐集品ノ展覽等アリ會集二千許
 定期慰問ヲナス

廿五日 陸軍騎兵伍長豊田勝一、陸軍輜重兵上等兵林鐵男遺骨平驛着ニ付市長、市會議長、名譽職員、各官衙、學校長、軍人分會、警防團、青年團、各婦人團體員其ノ他多數出迎弔意ヲ表シタリ
 方面委員例會

廿六日 縣下市町村長會
 廿七日 縣下選舉肅正委員會
 廿八日 市會開會
 廿九日 午後二時ヨリ市葬協議ヲナス
 郡山市ニ於テ縣下四市親善野球大會アリ選手新妻達男外十三名、應援者十名出席ス

三十日 市會議員會同協議ノ上日英會談ニ對スル決議打電(別記)定期慰問
 卅一日 臨時國勢調査

八月一日 午後六時ヨリマルトモホールニ於テ今次歸還セラレタル關内正二氏ノ歡迎座談會アリ
 水道擴張工事検査
 午前八時縣社子歛倉神社ニ於テ東日新聞社壯舉ニ係ル世界一周ニツボン號成功祈願祭
 市葬執行(記事)

// 十日 社會事業助成會役員會
 // 十二日 市及聯合分會主催武術大會(射擊)
 // 商業學校ニ於テ武術大會(軍刀術、銃劍術)
 // 午後七時ヨリ公會堂ニ於テ青年外交座談會アリ會集三百餘人
 // 十五日 午後三時半ヨリ公會堂ニ於テ今次歸還セラレタル遊沼龍輔氏ノ歡迎座談會アリ

昭和十四年八月十五日

發行所 平 市 役 所

發行人 青 沼 鋒 太 郎

印刷者 川 崎 文 治

福島縣平市長橋町三五番地

印刷所 常磐毎日印刷株式會社

電話 六三〇番

